

第5学年「てつがく創造活動」学習活動案

授業者：岡田紘子・片山元裕・築地晶子・町田直樹・本田祐吾

2月16日（金）4階教室・校庭・体育館・アッセンブリ・家庭科室 9：50～10：50

- 1 活動名 自分たちでつくりだす（プロジェクト型活動）
- 2 活動について

5年生は、1年生の3学期に休校となり、コロナ禍を経験した。2年生から4年生の半ば頃までは活動に制限がかかり、向かい合って対話ができなかったり、複数人での活動ができなかったりした。3年生では、個々で自分の興味のあることに取り組み、4年生では少しずつ制限が解除されていくのに合わせて、複数人での活動もできるようになってきた。そして、家でも学校でも遊ぶことに制限のあった生活は、このプロジェクト型の活動の内容にも表れてきているように思う。校庭であそぶことも制限されていた頃は、工作などのものづくりが多く、制限がなくなってくると外での活動、例えば、映画を撮影するなど室内ではできない活動が増え、中でも目一杯身体を動かす活動で汗を流す子もいる。一見すると、ただの遊びに見えるようなものもあるが、私たちが大切にしてきたことは、自分のやってみたくてとことんやってみようという意識を子どもたちがもつことで、学校だけでなく学校外での新しい出会いから、「こんなことをやってみたいな、あ、プロジェクトでやってみよう」と思い取り組める時間と場所があることが重要だと考えている。このような自由な活動の中で、私たちが一点、子どもたちに求めていることは、やりたいことが決まったらまずはゴールを決める—これはもちろん変化していったって良い—ことである。そこに向かっていく中で、試行錯誤したり、他者との考えの違いに行き当たって葛藤したり、調整したりし、探究のプロセスを歩んでいくことである。

その手立てとして、計画表を用いて自分の活動の見通しを立て、活動をふり返ることを大切にしている。プロジェクト型の活動は仲間とやることが多いが、ふり返りは個々に取り組みを中心としている。というのも、同じ目的に向かっていく仲間でも、少しずつ個々の想いは違うこと、その異なる他者との協働でプロジェクトもふり返りも、そこに対話が生まれ、意味あるものになるからである。具体的には、金曜日にその週の取り組みを個々にふり返り、それを同じプロジェクトの仲間と聴き合い、翌週の計画を立てる。その際に、活動の困りごとや話し合いがうまくいかない場合、別のプロジェクトに取り組む他者にアドバイスをもらうことで新たな気づきをもらうこともある。個々の興味を大切にすることで、異なる他者が尊重できるようになるとともに、自分だけでは知り得ない新たな知識や経験、出会いもまた起こり得るのである。こうした場をつくることや、子どもたちと他者、興味、世界をつなぐ役割が教師のしごとだと考えている。

2学期に入り、このプロジェクト型の活動に、さらに新たな試みを加えて、現在進めている。子どもたちが主体的に取り組む場それ自体も子どもたちがつくることである。具体的には、プロジェクトに必要な費用を自分たちで管理していくものである。もともと、プロジェクトの物品を家から持ち寄り、学校で探すなど材料を準備するのに四苦八苦していた。そこで、プロジェクトで使うものを買いたいという声に、保護者の協力を得て（資金を出していただいて）、プロジェクトの資金を子どもたちが自主管理して運営することにしたのである。それを運営する子どもたちを募り、話し合いを重ねる中で、どんな何にでもお金を出すのではなく、学年でプロジェクトで大事にしたいことを話し合っただけ、その視点からお金の使い道などの計画を出して、それを審議し、決めていくものであった。保護者会で資金提供のお願いをしたり、申請書を作ったりするなど、自分たちの学年のてつがく創造活動を、自分たちの手で作る試みが動き出し、進んでいる。

3 学習活動計画

【年間の計画】

自分たちでゴールを決め取り組む→興味のあること・やりたいことに没頭する→他者から学ぶ・協働する→ふり返りを大切にして、次へ生かす

【週の計画】

計画を確認する→計画をもとにして活動を進める→個人でふり返る→ふり返りを共有する→ふり返りをもとに次週の計画を立てる

4 本時の活動について

(1) 本時のねらい

目標に向かって活動を選択し、他者とかかわり合いながら自分（たち）のプロジェクト活動を作っていく。

(2) 予想される本時の展開例

主な学習活動と子どもの姿	留意点
1 活動内容の確認、諸連絡	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクトからの連絡があれば最初に確認する。 ・教師は活動を見守りながらも、必要に応じて子どもが他者とかかわれるよう環境を整える。
2 プロジェクト毎に計画をもとに活動する	
3 個で一週間の活動を振り返る。	
4 振り返りを友達と共有し、次週の計画を立てる。	